

第106回 消費者安全調査委員会 議事要旨

■日時：令和3年6月25日（金）14:00～15:50

■場所：Web会議システムによる

■出席者（敬称略、50音順）

<消費者安全調査委員会>

委員長：中川丈久

委員：小川武史、河村真紀子、澁谷いづみ、水流聡子、中原茂樹、持丸正明

<消費者庁>

片岡審議官、鮎澤消費者安全課長、松本事故調査室長、事故調査室員

■議事次第：

1. 開会
2. 個別事案について
 - (1) 選定事案
 - (2) 申出事案
3. 閉会

■議事概要：

1. 開会

2. 個別事案について

(1) 選定事案

《報告書等の審議・決定》

- 「自動ドアによる事故」について、調査報告書（案）を審議し、調査報告書として決定した。また、報告書の概要、意見書、周知資料、動画について審議を行い、それぞれ公表することを決定した。

今回の調査では自動ドアの製造業者から建物所有者・管理者の間には、建物設計者、施工業者、保全業者等多くの関係者が介在し、自動ドア製造業者が持つ安全に関する情報が各関係者に十分伝わっておらず、また、センサー交換で安全性が向上すること、さらに、子どもの手の引き込まれ防止の保護柵の設置などあることが分かった。

《新規事案の選定》

- 新たな調査案件として、①「トランポリンパークでの事故」、②「強力なネオジム磁石製のマグネットセットによる子どもの誤飲事故」について調査を行うことを決定した。

①重大事故2件を含め事故情報が寄せられており、今後、施設が増えた場合には、米国のように事故の発生の増加、また重傷事故に至る可能性が高いこと等から新たな調査案件と決定した。

②子どもが小さなマグネットボールを複数個を誤飲し、消化管が穿孔（せんこう、穴が開くこと）し、開腹手術した申出があり、非常に危険な事故が報告されている。事故の再発防止のため新たな調査案件として決定した。

（2）申出事案

- 申出のあった個別事案については、選定・不選定決定済みの415件を除く29件と5月に申出のあったもののうちの4件の計33件について検討し、調査委員会では、次のとおり決定した。
 - ・引き続き情報収集を行う 28件
 - ・調査等を行う 1件
 - ・調査等を行わない 4件

3. 閉会

文責：消費者庁事故調査室